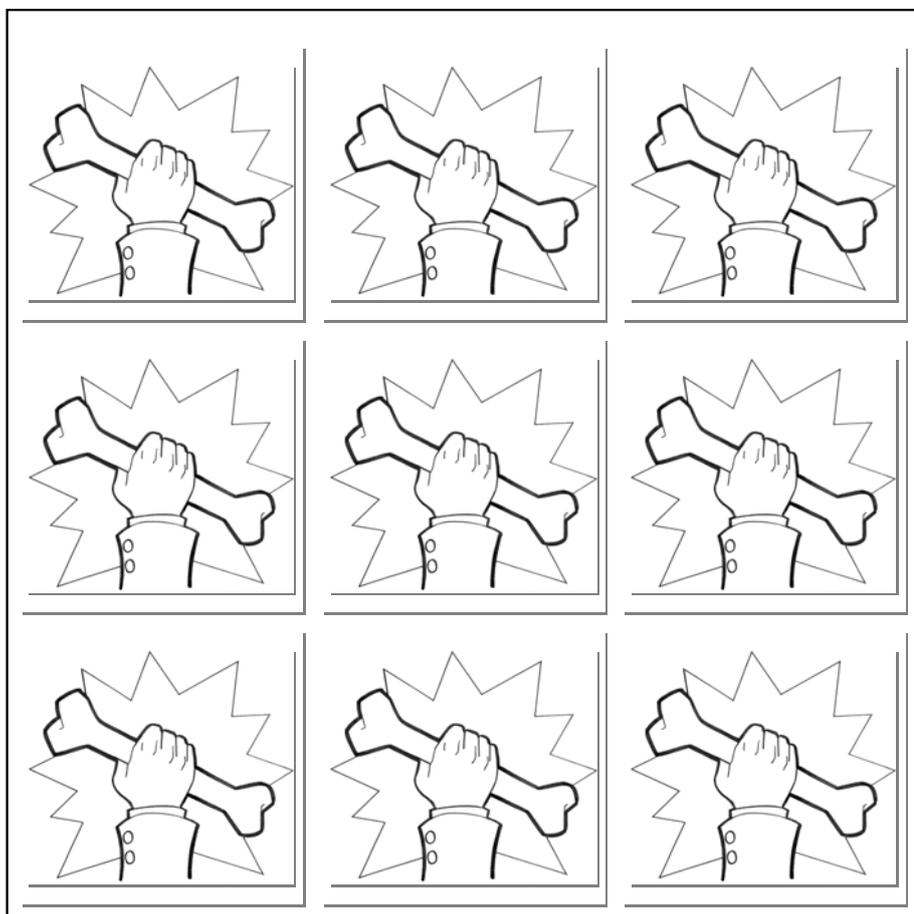


つかめ！面接のコツ

活動冊子

ver. 2.0



監修



財団法人 海外技術者研修協会

学習スケジュール

◆はじめに(目的、提出物、評価方法)	3
Part1 課題発見	
第1回 課題発見(1) 履歴書を書こう.....	6
第2回 課題発見(2) やってみよう！面接(集団面接) ビデオ撮影.....	9
Part2 自己理解	
第3回 自分取材活動(1) なぜ日本?	12
第4回 自分取材活動(2) 私はどんな人?	16
第5回 自分取材活動(3) 私の強み1	19
第6回 自分取材活動(4) 私の強み2	23
第7回 自分取材活動(5) 私プロデュース.....	26
第8回 自分取材活動(6) 企業と私のフィッティング	31
Part3 自己表現	
第9回 自己表現活動(1) グループ・ディスカッションを乗りきろう.....	35
第10回 自己表現活動(2) エントリーシートはこわくない1	39
第11回 自己表現活動(3) エントリーシートはこわくない2	42
第12回 自己表現活動(4) 本気で面接1 準備・リハーサル.....	45
第13回 自己表現活動(5) 本気で面接2 ビデオ撮影.....	48
Part4 まとめ	
第14回 評価(1) 面接〜これからの課題1 ビデオ評価	50
第15回 評価(2) 面接〜これからの課題2 「面接のコツ」ノートで振り返り	52

アイコンについて：それぞれの内容に合わせて、活動のサイズをアイコンで示しています。各項目の指示に合わせて、活動を進めて下さい。



1人で



ペアで



3～4人で



全員で



タスクの指示

◆はじめに コースの概要

a. 目的：

①自分自身をよく知り（自分取材）、なぜ就職したいのか（志望動機）を明確にし、自分の力を企業に向けて発信する（自己表現）ための簡潔かつ論理的な表現を目指す

②面接を成功させるための課題を自分自身で見つける

b. スケジュール：

Part	回	日付	授業の流れ	内容	提出物	その他
1	1		課題発見 (1)	履歴書・送付状を書く	面接のコツ 1-1・1-2	
	2		課題発見 (2)	やってみよう！面接 模擬面接を体験する	面接のコツ 2	集団面接 VTR 撮り
2	3		自分取材 活動(1)	なぜ日本？ 専門・留学理由・就職希望理由	面接のコツ 3-1・3-2・ 3-3	
	4		自分取材 活動(2)	私はどんな人？ 自分の長所と短所	面接のコツ 4	
	5		自分取材 活動(3)	私の強み1 社会人基礎力を理解する		
	6		自分取材 活動(4)	私の強み2 社会人基礎力で自己PR	面接のコツ 5	
	7		自分取材 活動(5)	私プロデュース 伝えたい第一印象を演出する	面接のコツ 6	印象 チェック
	8		自分取材 活動(6)	企業と私のフィッティング 志望職種で発揮できる自分の能力	面接のコツ 7	
3	9		自己表現 活動(1)	グループ・ディスカッション体験 いろいろな形式の面接を知る	面接のコツ 8	グループ ディスカ ッション
	10		自己表現 活動(2)	エントリーシートはこわくない1 外国人留学生ならではのアピール	面接のコツ 9	エントリ ーシート
	11		自己表現 活動(3)	エントリーシートはこわくない2 エントリーシート記入のコツ	面接のコツ 10	エントリ ーシート
	12		自己表現 活動(4)	本気で面接1 準備・リハーサル		
	13		自己表現 活動(5)	本気で面接2 ビデオ撮影		個人面接 VTR 撮り
4	14		評価(1)	面接～これからの課題1 ビデオ評価		
	15		評価(2)	面接～これからの課題2 「面接のコツ」ノートで振り返り	面接のコツ 11	

C. 評価方法

授業ごとの評価を取りまとめる形にします。授業ごとに評価するポイントは違います。

情報収集能力とは

面接やエントリーシートに記述する事柄は自分自身、ないしは他者の意見や感想から収集する情報で構成します。その能力を情報収集能力と呼びます。

文書表現能力とは

就活で使われる語彙や表現としてふさわしく、質問のテーマに沿った独自性のある文章を書く能力を文書表現能力と呼びます。

口頭表現能力とは

伝えたいイメージや内容を端的で明確なまとまりのある話し方で伝えることができる能力を口頭表現能力と呼びます。

●情報収集能力について

情報源（自分自身）から自己表現に必要な情報を引き出す（第1-10回、15回）

他者の意見から自己表現に必要な情報を引き出す（第1-10回、15回）

●文書表現能力について

就活にふさわしい語彙表現レベル（言語面）（第1-11回、15回）

就活で求められる自己表現テーマに合わせて独自性がある（内容面）

（第1-11回、15回）

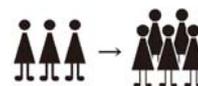
●口頭表現能力について

端的で明確な自己表現ができる（第2回、9回、13回）

狙いどおりのアピールになっている（第13回）

◆コース・ガイダンス

1 面接について仲間と話そう



話題1 来日してからの面接体験と難しかったこと

話題2 入社試験の面接について知りたいこと、不安に思っていること

2 コースの概要と活動内容を理解しよう



課題発見 面接を成功させるための課題は？

1 履歴書を書こう
*履歴書と送付状の書き方
コツ1-1・1-2

2 やってみよう！
面接 VTR 撮影
*私たちの課題は？
コツ2

自分取材活動 リソースは私！ 仲間の力を借りながら、自分を徹底的に掘り下げる

3 なぜ日本？
*私の専門*留学理由*志望理由
コツ3-1・3-2・3-3

4 私はどんな人？
*私の長所と短所
コツ4

5・6 私の強み
*社会人基礎力からみた私の能力
コツ5

7 私プロデュース
*第一印象を大切に
コツ6

8 企業と私のフィッティング
*志望動機
コツ7

自己表現活動 仕事で発揮できる自分の力を企業に向けて発信する

9 グループ・ディスカッション
*面接のいろいろ
コツ8

10・11 エントリーシート
*外国人の私をアピール
コツ9・10

12・13 本気で面接 VTR 撮影
*「宣言」から実行へ

今後に向けて これからの課題を発見する

14 面接
~これからの課題1
*VTRを見て自己評価

15 面接
~これからの課題2
*他者評価と自己評価
コツ11

活動の成果を「コツ」1～15にまとめます。

Part 1 課題発見

第1回 課題発見（1） 履歴書を書こう

企業との最初の出会いを成功へ！

◆この回の目的・目標

目的：履歴書、送付状の書式と文書で使われる語彙表現を知る。

目標：履歴書と送付状が正しく書ける。

1. 履歴書を書いてみよう



1-1 仲間と確かめよう

履歴書のテンプレート（私が見つけた面接のコツ 1-1：活動冊子 p.56）を見ながら、次の点について話し合おう。

- ①生年月日の年と学歴・職歴の年は西暦か元号か
- ②学歴は小学校から全部書くのか
- ③母国の学校名はカタカナ表記かアルファベット表記か
- ④資格は母国で取得したのものも含まれるか
- ⑤履歴書は手書きとタイプ、どちらがいいのか

1-2 書いてみよう



履歴書のサンプル（リソース集 p.3）を参考にして、自分の履歴書を作成しよう。

下書きは鉛筆を使用します。

1-3 確かめ合おう



ペアでお互いの履歴書を読み合っ、次のことをチェックしよう。

- ①ていねいで読みやすい字か、誤字がないか
- ②適切な語彙が使われているか

1-4 清書しよう



仲間のアドバイスをもとに書き直したものを提出してチェックを受けてから、「私が見つけた面接のコツ 1-1（履歴書）」（活動冊子 p.56）に黒のインクペンで清書して再提出して下さい。修正液は使用できないので、慎重に書くこと。

●次回に向けて：「やってみよう！面接」で面接体験をしてVTR録画をします。

次の質問に答えられるように練習してきて下さい。

- ・自己紹介（1分）
- ・好きな日本語の言葉とその理由（1分）
- ・日本人の国民性についてどう考えているか（1分）

第2回 課題発見（2） やってみよう！面接（集団面接）ビデオ撮影 できること・できないこと、私たちの課題は？

◆この回の目的・目標

目的：面接の場で、現在の自分ができること・できないことが何かを知る。

目標：面接でのポイントを知り、自身の課題を見つける。



1. 活動の進め方を確かめよう

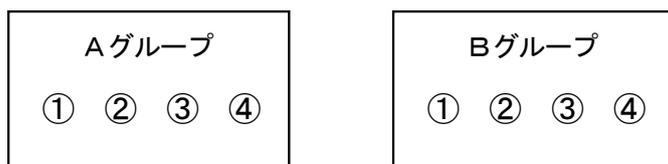
- 1) 集団面接Aグループ（Bグループは観察しながら「課題発見シート」（活動冊子 p. 11）にメモ）
集団面接Bグループ（Aグループは観察しながら「課題発見シート」（活動冊子 p. 11）にメモ）
- 2) 全員でVTRを見て感想・反省点・課題を話し合う
- 3) 自身の課題を見つけ、「私がつかんだ面接のコツ2」（活動冊子 p. 58）に記入する

2. 集団面接を体験しよう

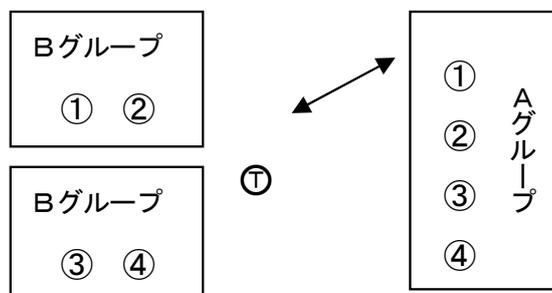
2-1 集団面接の準備をしよう



手順1 A・B 2グループに分かれる。



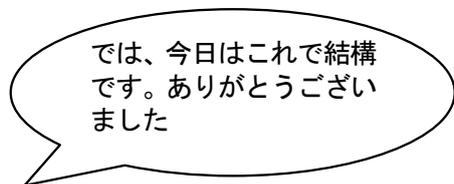
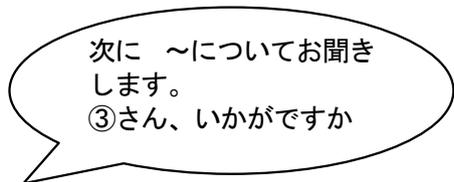
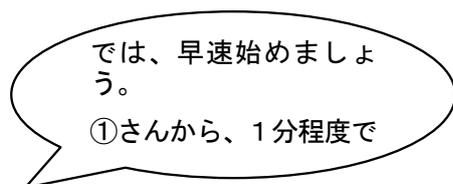
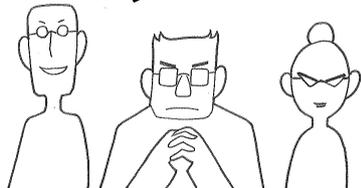
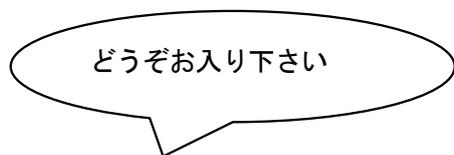
手順2 Aグループの面接の様子を観察しながら、Bグループは課題発見シートに気づいたことをメモする。



手順3 Bグループと交代する。

2-2 集団面接をやってみよう

① (面接官)

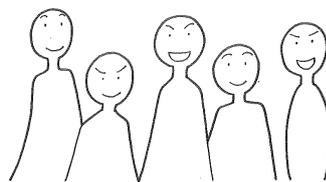


Aグループ①~⑤はドアの外で待機

①~⑤ 入室



①~⑤ 一礼



①~⑤ 一言添えて着席



①



③



①~⑤ 一礼



①~⑤ 起立



①~⑤ 退室

*質問内容は5人全員同じです。1つの質問に対して、1分程度で答えるようにします。

課題発見シート



仲間の面接を観察し、気がついたこと、注意したほうが良いことをメモ書きしてみよう。

<p>外見から受ける印象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座り方 ・姿勢 ・礼の仕方 ・表情 ・視線 	<ul style="list-style-type: none"> ×脚を組む ×腕を組む ○きちんとていねいに ◎笑顔はいい印象
<p>話のやりとりから受ける印象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ ・話すスピード ・発音、イントネーション ・言葉づかい ・質問に答えるまでの時間 ・語彙・表現 ・話の長さ ・他の人が話しているときの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ×友だち言葉 ×他の人の話を聞いていない
<p>話の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○わかりやすくまとまっている

3. VTR を見ながら面接をふりかえり、課題を見つけよう

3-1 VTR を見ながら、仲間と話そう



- ①課題発見シートのメモを見て、面接を成功させるためのポイントは何かを話し合う
- ②自分の面接の様子について、気がついたことを指摘してもらう

3-2 VTR を見てわかったことと仲間からの指摘を参考に「私が見つかった面接のコツ2

(面接を成功させるための私たちの課題)」(活動冊子 p.58) を書き、提出して下さい。

●次回に向けて：次の質問への自分の考えをまとめておきましょう。

「私の専門について」「日本に留学した理由」

「なぜ日本企業で働きたいか」

Part 2 自己理解

第3回 自分取材活動（1） なぜ日本？

外国人留学生だからこそ聞かれる質問

◆この回の目的・目標

目的：面接やエントリーシートの代表的な質問項目に対する自分の答えを考える。

目標：専門や研究のテーマや留学先や就職先を日本にした理由が説明できる。

1. 専門について説明しよう



1-1 下記の条件を確認しよう

条件1 自分の専門、研究について説明すること。

条件2 専門的になりすぎないこと。専門外の人でも分かるように書くこと。

条件3 聞きやすいスピードで話して、1分ぐらいで終わること。

1-2 仲間と話そう



まず、下記項目についてグループメンバーに説明して下さい。

質問1 専門は何か。研究テーマは何か。

質問2 研究の面白さはどこか。興味、関心はどこにあるか。

質問3 将来したい仕事と今の研究はどのように関連するか。

1-3 <下書きその1>を書いてみよう



下記の条件を入れて、自分のノートに<下書きその1>を書いて下さい。

条件1 専門についての概略。

条件2 あなたの研究のテーマとその面白さ。

条件3 卒業後の仕事との関連性。

1-4 仲間に話そう



<下書きその1>を見ながら1分で話して下さい。聞いている人達は以下の点について、発表者にコメントして下さい。

- 評価1 内容の分かりにくいところがないかどうか。
- 評価2 もっと詳しく知りたいところがあるかどうか。
- 評価3 長さや話すスピード、話し方は適当であったか。

1-5 <下書きその2>を書こう



自分の原稿を再検討して、下記の条件を踏まえて<下書きその2>を書いて下さい。

- 条件1 グループメンバーの意見を取り入れていること。
- 条件2 <下書きその1>の内容より、具体的で分かりやすくなっていること。
- 条件3 語彙や文型の間違いがないこと。

授業のあとに

<下書きその2>ができあがったら友人に聞いてもらい、意見をもらいましょう。
書けたら提出して間違いがないかどうか、チェックをもらって、「私のつかんだ面接のコツ3-1」（活動冊子 p.59）を見に清書しましょう。

2. なぜ日本に留学したのか、理由を説明しよう

2-1 下記の条件を確認しよう



- 条件1 留学しようと思った理由。
- 条件2 留学先を他国でなく日本にした理由。
- 条件3 聞きやすいスピードで話して、1分ぐらいで終わること。

2-2 仲間と話そう



下記項目について、グループメンバーに説明して下さい。

- 質問1 なぜ留学しようと思ったか
- 質問2 なぜ留学先を日本にしたか。

2-3 <下書きその1>を書いてみよう



下記の条件を入れて、自分のノートに<下書きその1>を書いて下さい。

条件1 留学することに決めた理由。

条件2 留学先を日本にした理由。

2-4 仲間に話そう



<下書きその1>を見ながら1分で話して下さい。聞いている人は以下の点について、発表者にコメントして下さい。

評価1 内容の分かりにくいところがないかどうか。

評価2 もっと詳しく知りたいところがあるかどうか。

評価3 長さや話すスピード、話し方は適当であったか。

2-5 <下書きその2>を書こう



自分の原稿を再検討して、下記の条件を踏まえて<下書きその2>を書いて下さい。

条件1 グループメンバーの意見を取り入れていること。

条件2 <下書きその1>の内容より、具体的で分かりやすくなっていること。

条件3 語彙や文型の間違いがないこと。

授業のあとに

<下書きその2>ができあがったら友人に聞いてもらい、意見をもらいましょう。

書けたら提出して間違いがないかどうか、チェックをもらって、「私のつかんだ面接のコツ3-2」(活動冊子 p.59) に清書しましょう。

3. なぜ日本で就職をしたいのか、理由を説明しよう

3-1 下記の条件を確認しよう



条件1 日本で仕事をしたい理由を明確に入れる。

条件2 日本企業で仕事をする上での不安と、その対処方法を入れる。

条件3 聞きやすいスピードで話して、1分ぐらいで終わること。

3-2 仲間と話そう



下記項目について、グループメンバーに説明して下さい。

- 質問1 どうして自分の国ではなく日本で仕事をしたいと思ったのか。
- 質問2 日本で仕事をしていく上での不安とその対処方法は何か。

3-3 <下書きその1>を書いてみよう



下記の条件を入れて、自分のノートに<下書きその1>を書いて下さい。

- 条件1 日本で就職したい理由。
- 条件2 日本で仕事をしていく上での不安とその対処方法。

3-4 仲間に話そう



<下書きその1>を見ながら1分で話して下さい。聞いている人は以下の点について、発表者に質問して下さい。

- 評価1 内容の分かりにくいところがないかどうか。
- 評価2 もっと詳しく知りたいところがあるかどうか。
- 評価3 長さや話すスピード、話し方はいい印象だったか。

3-5 <下書きその2>を書こう



自分の原稿を再検討し、下記の条件を踏まえて<下書きその2>を書いて下さい。

- 条件1 グループメンバーの意見を取り入れていること。
- 条件2 <下書きその1>の内容より、具体的で分かりやすくなっていること。
- 条件3 語彙や文型の間違いないこと。

授業のあとに

<下書きその2>ができあがったら友人に聞いてもらい、意見をもらいましょう。書けたら提出して間違いがないかどうか、チェックをもらって「私のつかんだ面接のコツ3-3」(活動冊子 p.59) に清書しましょう。

第4回 自分取材活動（2） 私はどんな人？

あなたの長所はどんなところ？

◆この回の目的・目標

目的：アピールする自分の長所と、改善目標となる短所を明確にする。

目標：自分を客観視して、説得力のある自己PRができる。

1. 人の性格や傾向を日本語でどう表すかを知る



1-1 仲間と話そう

次の言葉をプラスの意味を持つものとマイナスの意味を持つものに分けてみよう。

また人の性格や傾向を表す言葉でほかにどんなものがあるか、仲間と出し合ってみよう。

活発	几帳面	自己中心的	優しい	落ち着いている
まじめ	せっかち	人見知りする	慎重	我慢強い

プラスのもの

マイナスのもの

2. 働くことと性格・傾向の関係を考える



2-1 仲間と考えよう

企業が求める人材は、どのような性格・傾向を持つ人か、その理由は何だろうか。

どんな性格・傾向か	理由
例) 責任感がある	仕事を任せることができる

3. 自分自身の長所を仕事に結びつけて具体的に表す

3-1 <下書きその1>を書こう



次の手順で自分のノートに<下書きその1>を書いて下さい。

- 手順1 あなたの長所。(思いつくものをいくつでも)
- 手順2 その中で、仕事で生かせるものを一つ選ぶ。
- 手順3 2で挙げたことを説明できる具体的なエピソードを書く。

3-2 仲間に話そう



<下書きその1>を見ながら、1分程度で話して下さい。

聞いている人達は以下の点について、発表者にコメントして下さい。

- 評価1 エピソードの内容がわかりやすいか。
- 評価2 エピソードの内容と性格・傾向を表す言葉が合っているか。
- 評価3 仕事に関連付けて語られているか。



3-3 <下書きその2>を書こう

仲間からのコメントを参考に<下書きその1>を手直しして、<下書きその2>を書き、提出してチェックを受けて下さい。

- 条件1 グループメンバーの意見を取り入れていること。
- 条件2 語彙や文型の間違いがないこと。

4. 自分に足りないもの、改めようと思っていることを仕事に結び付けて表す

4-1 <下書きその1>を書こう



次の手順で自分のノートに<下書きその1>を書いて下さい。

- 手順1 自分の短所だと思うこと。
- 手順2 なぜそう思うのか、具体的なエピソードを書く。
- 手順3 短所として自覚していることは、どうすれば改善できると考えるか
- 条件 短所とエピソードを述べ、短所が仕事への悪影響とならないように、どのような努力をするかが表れていること。

4-2 仲間に話そう



＜下書きその1＞を見ながら、1分程度で話して下さい。

聞いている人は以下の点について、発表者にコメントして下さい。

評価1 エピソードの内容がわかりやすいか。

評価2 エピソードの内容と性格・傾向を表す言葉が合っているか。

評価3 努力目標が語られているか。



4-3 ＜下書きその2＞を書こう

仲間からのコメントを参考に＜下書きその1＞を手直して、＜下書きその2＞を書き、提出してチェックを受けて下さい。

条件1 グループメンバーの意見を取り入れていること。

条件2 語彙や文型の間違いないこと。



5. 「私の長所と短所」をまとめよう

チェックを受けた「私の長所」「私の短所」の＜下書きその2＞をもとに、「私が見つかった面接のコツ4（私の長所と短所）」（活動冊子 p.60）を記述し、提出しましょう。

●次回に向けて：「私の強み」

「社会人基礎力」に関する資料（リソース集 p.4）を読みながら話し合います。

漢字の読みとわからない言葉の意味を調べておいて下さい。

第5回 自分取材活動（3） 私の強み1

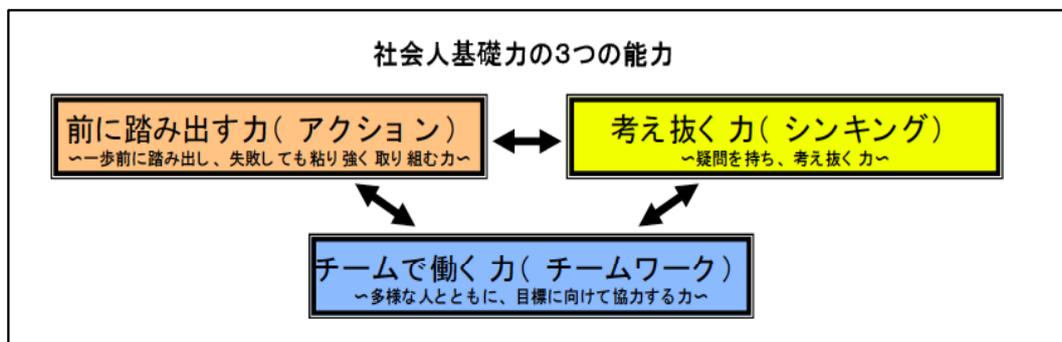
社会人基礎力で自己PR!

◆この回の目的・目標

目的：仕事に必要な能力である「社会人基礎力」を知る。

目標：具体的な出来事から社会人基礎力をイメージできる。

「職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な能力」のことを、「社会人基礎力」と言います。社会人基礎力は大きく3つに分けられます。



抜粋：経済産業省「社会人基礎力に関する緊急調査」（平成18年4月）

http://www.meti.go.jp/press/20060418005/shakaijin_kisoryoku-chousa-set..pdf

それぞれの力は、さらに細かい能力要素で構成されています。それぞれの能力を具体的に理解し、どの力が自分の強みとしてアピールできるか考えてみましょう。

1. それぞれの力が表す意味を理解しよう

1-1

前に踏み出す力(アクション)
～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

について仲間と話そう



「前に踏み出す力」を構成する要素には、**a. 主体性** **b. 働きかけ力** **c. 実行力**があります。

課題1 それぞれの言葉は職場のどのような場面で発揮させる力か。

課題2 なぜ職場でそのような力が必要だと考えられているのか。

課題3 話し合った結果をまとめて発表する。

1-2

考え抜く力(シンキング)
～疑問を持ち、考え抜く力～

について仲間と話そう



「考え抜く力」を構成する要素には、**d. 課題発見力 e. 計画力 f. 創造力**があります。

課題1 それぞれの言葉は職場のどのような場面で発揮させる力か。

課題2 なぜ職場でそのような力が必要だと考えられているのか。

課題3 話し合った結果をまとめて発表する。

1-3

具体的な事例で考えよう①



下記は社会人基礎力に関する日本人大学生の行動事例です。**a. 主体性 b. 働きかけ力 c. 実行力 d. 課題発見力 e. 計画力 f. 創造力**のどの力を具体的に説明したものでしょうか。

(1) 3学部合同で活動する時、他学部のリーダーと連絡を取り合って進行状況を確認し合い、意見を出し合うよう心がけた。個性の強い人もいたのでその人が一番動いてくれそうな伝え方を考えて伝えた。

→ () 力

(2) アンケート分析を終え、統計学を専門にしている教授に提出した際に、数値のミスやグラフの間違いを多数指摘され、修正を求められた。時間が限られていたが、1日ごとの作業目標を設定し実行することで期限までにすべて修正し提出をした。

→ () 力

(3) 複雑な実験を自分で行う時間がとれなかった時その実験の意図や、期待される結果をリーダーに話した上で後輩に頼んで実験を行ってもらった。

→ () 力

(4) 成功のイメージに向けて作成したロードマップに書き込みを入れながら、実験の指針を組み立て、新たな課題と見えてきたものはさらに次へ生かした。目標達成時までに生じうる課題を予測し、その対策を組み込んだり不要と判断された場合は取り除いたりしながら研究を行った。

→ () 力

(5) 設計からデータ提出まで1ヶ月しかなかったが、最優先すべき方針を明確にし、研究室に保有のツール、設備の状況、うまくいかなかった時の手順を考えて効率よく実験を進める

ことができた。

→ () 力

抜粋：経済産業省『今日から始める 社会人基礎力の育成と評価～将来のニッポンを支える若 者があふれ出す！～』（平成19年度）

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/h19reference.htm>

1-4

チームで働く力(チームワーク)
～多様な人とともに、目標に向けて協力をか～

について仲間と話そう



「チームで働く力」を構成する要素は、g. 発信力 h. 傾聴力 i. 柔軟性 j. 状況把握力 k. 規律性

1. ストレスコントロール力があります。

課題1 それぞれの言葉は職場のどのような場面で発揮させる力か。

課題2 なぜ職場でそのような力が必要だと考えられているのか。

課題3 話し合った結果をまとめて発表する。

1-5 具体的な事例で考えよう②



下記は社会人基礎力に関する日本人大学生の行動事例です。g. 発信力 h. 傾聴力 i. 柔軟性

j. 状況把握力 k. 規律性 1. ストレスコントロール力のどの力を具体的に説明したものでしょうか。

(6) 1人1人の意見を活かす方法を考えており合いをつけること、行き詰まったらより良い方向転換を見定めることに努めた。

→ () 力

(7) 自分と意見の合わない人と一緒に仕事をしていくことでストレスを感じるがあったが、ネガティブに考えるのではなく、その人と仕事以外で調和できる場面を見つけられるようにした。

→ () 力

(8) 資料を作成する時どうしたら相手がわかりやすいかを考えるようになった。相手の関心の高そうなどころだけでなく、相手に分かってもらえる内容やおもしろみまで考え、相手を乗せられるようになりたい。

→ () 力

(9) 意見が対立する場面であっても、相手が不快感を持たないよう、礼儀をわきまえた態度を

とるようにした。

→ () 力

(10) 発表会までの仕事の調整役を行った。他のメンバーの忙しさや仕事の量を把握し、日程の中で全体がうまくまわるように配慮した。

→ () 力

抜粋：経済産業省『今日から始める 社会人基礎力の育成と評価～将来のニッポンを支える若者があふれ出す！～』（平成19年度）

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/h19reference.htm>

2. 自分のことを考えてみよう



手順1 グループのメンバーについてその人が持っている力を一つ選ぶ。

手順2 根拠や理由をあげて順番に発表する。他の人からの意見を聞いている間は反論したり説明したりせずに、メモをとる。

手順3 他の人の意見を聞いて気がついたことを発表する。

第6回 自分取材活動（4） 私の強み2

社会人基礎力で自己PR!

◆この回の目的・目標

目的：面接やエントリーシートで「自己PR」をする時、社会人基礎力で自分の強みをアピールできる。

目標：具体的で分かりやすい事例を用いて説得力のある自己PRにまとめる。

1. 強みとしての「社会人基礎力」を見つけだそう

1-1 考えよう



課題1 自己診断シートをチェックし、自分の強みとして<A>をつけられる要素を必ず1つないしは2つ選ぶこと。

課題2 強みとして選んだものをp.24の□に書き込み、1～3について自分の答えを用意すること。

社会人基礎力12の質問 自己診断シート

◆ 下の1から12までの文章を読んで、自分にあてはまるかどうか自己診断してください。その程度によって、AからDまでを（ ）の中に書き込んで下さい。

「そう思う」=A 「どちらかというと、そう思う」=B

「あまりそう思えない」=C 「全くそう思えない」=D

- 1 私には、物事に進んで取り組む力（主体性）がある（ ）
- 2 私には、他人に働きかけ、巻き込む力（働きかけ力）がある（ ）
- 3 私には、目的を設定し確実に行動する力（実行力）がある（ ）
- 4 私には、現状を分析し、目的や課題を明らかにする力（課題発見力）がある（ ）
- 5 私には、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）がある（ ）
- 6 私には、新しい価値を生み出す力（創造力）がある（ ）
- 7 私には、自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）がある（ ）
- 8 私には、相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）がある（ ）

- 9 私には、意見の違いや立場の違いを理解する力（柔軟性）がある（ ）
- 10 私には自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）がある（ ）
- 11 私には、社会のルールや人との約束を守る力（規律性）がある（ ）
- 12 私には、ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）がある（ ）

私の強み(A)は…（ ）

- 1 自分にある力がそれだと考えた理由
- 2 その根拠となる具体的な出来事や事例
- 3 それは職場でどんな時に発揮できる力か

1-2 仲間と話そう



自分で考えたことをグループのメンバーに説明してみましょう。グループメンバーは以下の点について発表者に質問して下さい。

- 評価1 発表者の理由は明確で納得できる理由かどうか。
- 評価2 具体的な事例は発表者の強みと関連があり、いい説明になっているかどうか。
- 評価3 発表者の強みは仕事で生かせると感じる事ができたかどうか。

1-3 書こう



面接では一番伝えたいことを確実に言うために結論を最初に言うのが有効な方法です。話したことを整理して、下記のような流れで例文を参考に適度な長さの文章にまとめましょう。

1. 前置き

私は、自分の強みを経済産業省の定義した「社会人基礎力」を使って説明したいと思います。

2. 結論

社会人基礎力には12の能力要素がありますが、その中でも私の強みは(A)です。

3. 説明

【(A) 例：主体性】というのは、(物事に進んで取り組む力) のことだとされています。

4. 具体的事例

以前このようなことがありました。()

5. まとめ

今後仕事の場面、例えば(例：同僚の方々と協力して仕事を進めていかなければならない) ような場面で、(例：指示を待つのではなく、今、自分がその仕事のために何ができるのかを考え、提案したり相談したりしながら進めていかなければならないような時) に、この力を発揮していきたいと考えています。

1-4 仲間と話そう



どのようにまとめることができたか、クラス全体に説明します。一人ずつ前に出て、3分以内で発表して下さい。他の人は発表者に対して、以下の点について全員がコメントして下さい。

評価1 内容のわかりにくいところがなかったかどうか。

評価2 発表者とアイコンタクトがあったかどうか。

評価3 長さや話すスピードは適当だったと思うかどうか。

授業のあとに

自分の書いた原稿を提出して文型や表記の間違いないかどうかチェックを受けて下さい。返却をしてもらったら、「私のつかんだ面接のコツ5」(活動冊子 p.61) に清書しましょう。

第7回 自分取材活動（5） 私プロデュース

面接で伝えたい自分像は？

◆この回の目的・目標

目的：非言語表現を含めた自己表現の技法を身に付ける。

ゴール：社会人としてデビューする自分の第一印象を演出する。

1. 人の第一印象を決めるものは？



1-1 考えてみよう

初対面の人との出会いの場面（あいさつから自己紹介まで）で、相手の第一印象を決めるものは何だろうか。顔か声か話の内容か、その他できるだけ具体的に書いてみよう。また、それは相手をどう判断する手がかりになるだろうか。

何から

どう判断する

例) 声が大きい ……

明るく、元気な人

1-2 仲間と話そう

上で挙げたものを印象の強い順に並べ替えて、仲間と比べてみよう。



①

②

③

2. 面接時の第一印象を面接官の視点で考える

2 考えてみよう



面接時に、面接官が応募者をチェックするポイントは何だろうか。

入室した時 ・服装 ・	あいさつした時 ・ ・	面談中 ・話し方 ・	退出する時 ・ ・
-------------------	-------------------	------------------	-----------------

3. 面接時に印象付けたい自分のイメージ戦略を立てよう



【用意するもの】名刺大のカード（付箋紙：ピンクとブルー 各3枚×グループの人数分）

手順1 下の の言葉から、面接時に印象付けたい自分のイメージを3つまで選び、ピンクのカードに書く。

1枚に1つのイメージを書くこと。×明るくて積極的 ○明るい ○積極的
カードは仲間には見えないようにしておく。

明るい 快活 積極的 信頼できる 情熱的 礼儀正しい
優しい 落ち着いている まじめ 優秀 ()

手順2 そのイメージを選んだ目的（何のために）と戦略（具体的にどう表現するか）を自分のノートにメモする。

例) 快活 (カード)

快活なイメージ (メモ)

目的：営業職希望なので親しみやすさを出したい

戦略：笑顔と元気な声

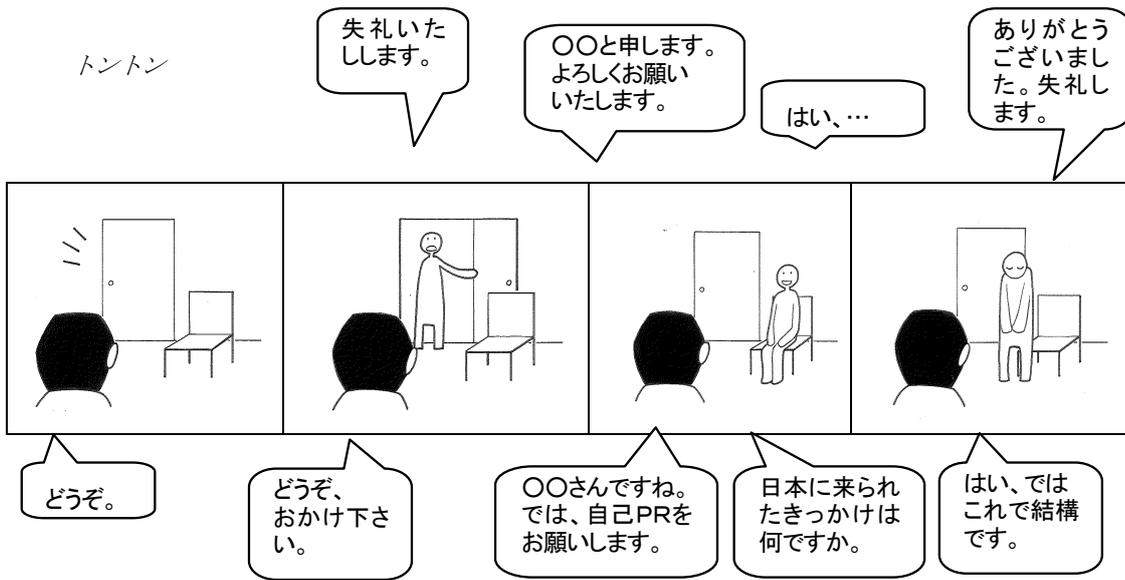
礼儀正しい (カード)

礼儀正しいイメージ (メモ)

目的：日本人と会う時に失礼な感じを与えたくない

戦略：礼をきちんとする

4. イメージ戦略に沿って、印象チェックをしてみよう



模擬面接（個人面接形式）

入室→着席→あいさつ→1分程度の自己PR→1問1答→退室

面接時間は1人5分以内。面接官の役は交代で行う。

印象チェック

グループのメンバーが応募者の第一印象をチェックする

第一印象を書く



快活 (カード)

根拠（なぜそう感じたか）をノートにメモ書きする



印象：快活なイメージ (メモ)
根拠：声が大きくて、笑顔が印象的。

例)

落ち着きがない (カード)

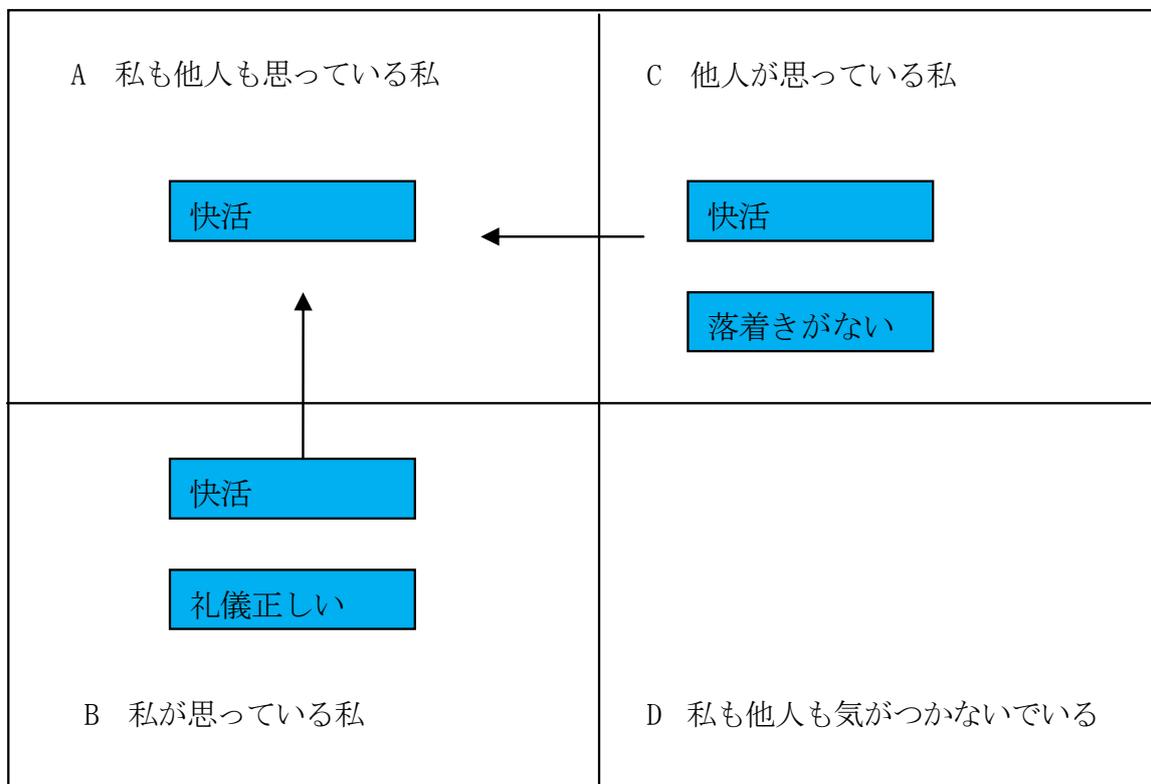
印象：落ち着きがない (メモ)
根拠：話す時に体が揺れている。

第一印象は1人の応募者につき3枚まで使用可

5. 自分がねらったイメージと相手が受けた印象の違いを見つけよう



下のような4つの四角を作り、Bにピンクのカード（自分が書いたもの）、Cにブルーのカード（メンバーが書いたもの）を置く。BとCで同じものはAに移動する。



*ジョハリの窓

5-1 仲間と話そう



話題1 Cで指摘された印象の根拠は何か。

話題2 Bで自分がねらったイメージが伝わらなかった原因について。

5-2 イメージ戦略メモを書こう



<p>イメージ戦略 成功！ (BとCが同じなので Aに移動したもの)</p>	<p>伝わったイメージと戦略・仲間からの指摘</p>
<p>イメージ戦略 失敗・ (Bに残ったもの)</p>	<p>伝わらなかったイメージと戦略・原因</p>

知らなかった自分の イメージ (Cに残ったもの)	予想していなかったイメージ・仲間からの指摘
------------------------------------	-----------------------

6. 伝えたい自分像と戦略を立て直そう



イメージ戦略メモをもとに、面接時に伝えたい自分像と戦略を練り直して、「私が見つけた面接のコツ6（私プロデュース）」（活動冊子 p. 62）に記入し、提出して下さい。

第8回 自分取材活動（6） 企業と私のフィッティング

私の強みを発揮できる職種は？

◆この回の目的・目標

目的：志望動機と企業が求める人材像を結びつける。

ゴール：説得力のある志望動機を作り上げる。

1. 職種ごとにどんな能力が求められているかを考えてみよう

1-1 仲間と話そう



話題1 下の表のa～iの職種と職務の具体的な内容について確かめ合おう。

職 種	具体的内容
a. 事務・管理系	人事、 <small>ろうむ</small> 労務、 <small>ざいむ</small> 経理、 <small>ほうむ</small> 財務、 <small>とつきよ</small> 法務、 <small>ぶつりゆう</small> 特許、物流、貿易事務、 海外事務、一般事務等
b. <small>きかく</small> 企画系	広報、宣伝、商品開発、マーケティング、調査研究、経営企 画等
c. 営業系	<small>こきゃく</small> 顧客開発、 <small>すいしん</small> 営業推進、 <small>そくしん</small> 販売促進等
d. 技術・研究系	研究、 <small>せいぞう</small> 製造技術、 <small>きき</small> 機器設計、 <small>どぼく</small> 土木建築測 <small>そくりょう</small> 量設計、品質管理、 生産管理、 <small>せこう</small> 施工管理等
e. 販売・サービス系	接客、店長、スーパーバイザー、バイヤー等
f. 専門系	コンサルタント、 <small>やくざいし</small> 薬剤師、 <small>かいごし</small> 介護士等
g. <small>きんゆう</small> 金融系	<small>ゆうし</small> 融資・ <small>しさんうんよう</small> 資産運用マネジャー、 <small>かわせ</small> 為替ディーラー・トレーダー、 ファイナンシャルアドバイザー等
h. クリエイティブ系	デザイナー、 <small>へんしゅう</small> 編集・ <small>せいさく</small> 制作、記者・ライター、ゲームクリエー ター等
i. IT系	システムエンジニア、システム <small>ほしゅ</small> 保守運用、プログラマー、 ITコンサルタント等

■抜粋：経済産業省「企業の『求める人材像』調査 2007～社会人基礎力との関係～」(平成19年3月)

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/cyosa2007.pdf>

話題2 社会人基礎力の12の能力要素それぞれが、特に強く求められるのはa~iのどの職種か理由を考えながら二つまで選んでみよう。

- | | |
|------------------|------------------------|
| ①主体性 (b) () | ⑦発信力 () (b) |
| ②働きかけ力 (c) () | ⑧傾聴力 () (c) |
| ③実行力 (c) () | ⑨柔軟性 (e) () |
| ④課題発見力 () (d) | ⑩状況把握力 (g) () |
| ⑤計画力 (g) () | ⑪規律性 (a) () |
| ⑥創造力 () (b) | ⑫ストレスコントロール力 () (i) |

→ () の中に記号を書いたら、資料(リソース集 pp.5-9)を見て、確かめてみよう。

2. 仕事の場面で発揮する能力は？



2-1 仲間と考えよう

社会人基礎力の12の能力要素は、具体的には仕事のどんな場面で求められるのかを考え、上の①~⑫から選んで () の中に入れてみよう。

例：職種＝営業系 担当＝顧客開発

場面	求められる能力
社内会議に出席する	(④) (⑧) ()
顧客にアポイントを取る	(③) () ()
訪問して顧客と面談をする	() () ()
帰社後、報告書、企画書を書く	() () ()

3. 説得力のある志望動機を作ろう

3-1 <下書きその1>を書こう



自分が希望する職種ではどんな能力が求められているのか、そこで自分の強みをどう発揮するかを考え、志望動機<下書きその1>を書こう。

志望動機<下書きその1>

希望する職種
仕事の内容を詳しく
その仕事に興味を持ったきっかけ
その仕事の魅力
その仕事に求められる能力
企業がその職種の人に求める社会人基礎力
自分の強み
強みに関連したエピソード
強みを仕事でどう発揮するか
仕事で実現したいこと
自分に不足している能力
不足している能力をどのように克服していくか

3-2 ペアで話そう



＜下書きその1＞をもとに、2人1組で次の質疑応答をして下さい。

質問1 希望する職種に興味を持ったきっかけとその仕事の魅力を話して下さい。

質問2 その仕事であなたが発揮できる強みは何ですか。

質問3 その仕事で将来あなたが実現したいことは何ですか。

お互いに、次の点について評価し合ってください。

評価1 語彙・表現は適切だったか。

評価2 内容にわかりにくい点がないか。

評価3 自分の強みと将来の希望についての話が具体的だったか。

3-3 ＜下書きその2＞を書こう



＜下書きその1＞を見ながら、自分のノートに志望動機＜下書きその2＞を書いて下さい。

条件1 希望するようになったきっかけと、その職種に求められる能力、自分が発揮できる能力が明らかであること。

条件2 1分程度で話せる内容のものにまとめること。



3-4 仲間に話そう

＜下書きその2＞を見ながら、1分程度で「志望動機」を話して下さい。

条件1 話すスピード、声の大きさに注意する。

条件2 熱意が伝わる話し方をする。

聞く人は以下の点を評価して下さい。

評価1 話すスピード、声の大きさが適切だったか。

評価2 説得力のある「志望動機」だったか。

評価3 熱意が伝わったか。

3-5 書いてみよう



＜下書きその2＞を見直して訂正を入れ、チェックを受けてから、「私がつかんだ面接コツ7（なぜこの職種を志望するのか）」（活動冊子 p.63）を提出して下さい。

Part 3 自己表現

第9回 自己表現活動（1） グループ・ディスカッションを乗り切ろう

いろいろな形の面接

◆この回の目的・目標

目的：面接の形式を知り、対策を立てる。

グループ・ディスカッションを体験し、課題を設定する。

目標：グループ・ディスカッションで効果的にアピールできる。

1. 面接の形式を知り、注意点を考えよう

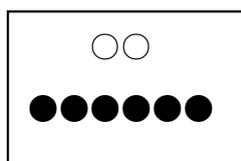


面接には、目的に合わせて以下の種類があります。

それぞれの面接を成功させるための注意点は何か、グループで話し合ってください。

①集団面接

形式：○面接官 2、3名が ●応募者 5、6名に質問する



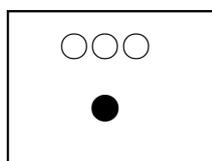
主な目的：大勢の応募者から有望な人を絞り込む

質問内容：自己PR、志望動機など

注意点： 例) 一人当たりの時間が短いので簡潔に話す

②個人面接

形式：役員クラスの○面接官 2、3名が ●応募者 1名に質問

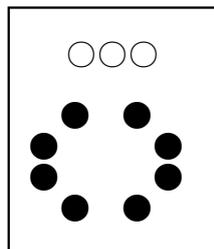


主な目的：応募者の能力と入社意志を確認する

質問内容：自己PR、志望動機、専門、大学時代に打ち込んだこと、自分の長所・短所、入社後のビジョンなど

注意点：

③グループ・ディスカッション



形式：●応募者 6～8名のグループで、出された議題を討議する

○面接官 2、3名はその様子を観察する

主な目的：コミュニケーション能力を見る

議題：「良い企業とは」など

注意点：()

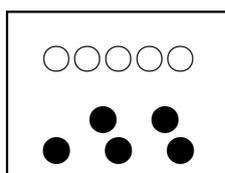
2. グループ・ディスカッションの進め方、注意点、評価項目を知ろう



2-1 グループ・ディスカッションの進め方を知る

5人程度のグループを作り、ディスカッションをするメンバー●と評価者○に分かれる。

1) 面接官からの指示 ○「では、役割分担を決めてから、～というテーマについて 20分



間 話し合って結論を発表して下さい」

● 全員で次の役割分担を決める。

司会進行係／時間管理係／議事録係 各 1名

2) ディスカッション開始

● (司会)「では早速、討議に入りましょう。みなさん、よろしくお願いします」

●●●● 「よろしくお願いします」

3) ディスカッション (20分間)

テーマについて全員で意見交換

時間管理係は進行状況を見ながら残り時間の注意を促す

結論がまとまったら、発表者を決めておく (司会が発表しなくとも良い)

4) 面接官からの指示

○「20分経過しましたので終了します。結論の発表をお願いします」

●「はい、～について私たちのグループの結論を発表します」

2-2 グループ・ディスカッションに参加するときの注意点を考える

それぞれの役割で注意しなくてはならないことを考えてみよう。

- ・司会進行係
- ・時間管理係
- ・議事録係
- ・その他のメンバー

2-3 グループ・ディスカッションの評価項目を確かめる

評価シート できている○ ほぼできている△ できていない×

時間内に結論が出た	
議題と結論が合っている	
討論がうまく進むように全員で協力した	
発言する人が偏っていなかった	
発言する人同士がマナーを守っていた	
各役割が自分の分担を果たした <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行係 ・時間管理係 ・議事録係 ・その他のメンバー 	
その他気がついたこと	

3. グループ・ディスカッションを体験しよう



3-1 グループに分かれ、グループ・ディスカッションをやってみよう

議題：Aグループ「社会人と学生の違い」／Bグループ「仕事のやりがいとは」
 他グループのメンバーは全員が評価者になり、評価シートを記入します。

4. グループ・ディスカッションのポイントを整理しよう

4-1 体験後のふりかえり

全体で次のことを話し合おう。



●の立場の時に難しかったことは何か、自分の役割が果たせたか、課題は何か

○の立場から見て、評価シートのメモを見ながら意見と感想を話す



4-2 ▶ グループ・ディスカッションのポイントと課題のまとめ

ディスカッションに参加した体験、評価者からの意見、ふりかえりの話し合いをふまえて、「私が見つかった面接のコツ8（グループ・ディスカッション）」(活動冊子 p. 64) を記入し、提出してチェックを受けて下さい。

第10回 自己表現活動（2） エントリーシートはこわくない 1 外国人である自分をアピール！

◆この回の目的・目標

目的：外国人留学生として自己アピールするためのポイントを考える。

目標：企業が外国人社員に求める人材像に合わせて自己PRを書く。

1. 外国人留学生としてアピールできること

企業が外国人社員を採用する理由は下記の3つのポイントに絞られます。

エントリーシートには外国人を起用したい企業の考えを念頭において自己PRや志望動機を書くと独自性のある内容になります。

- 1 専門の技術や知識がある技術系人材として
- 2 日本本社と駐在の事務所や工場をつなぐブリッジ人材として
- 3 社内文化や風土を変化させるための社内活性化の人材として



1-1 仲間と話そう

上記1、2、3のような人材とは、どのように仕事ができる人だと思いますか。その仕事をするためにはどんな力が必要でしょうか。下記の□の言葉を参考にして考えましょう。

主体性	協調性	語学力	発信力	コミュニケーション力	創造力
異文化理解力	異文化適応力	チャレンジ精神	リーダーシップ	傾聴力	
忍耐力	分析力	課題発見力	状況把握力	柔軟性	実行力

1 専門の技術や知識がある技術系人材とは

Ex. 自分の専門性や知識を生かすために、同僚とのコミュニケーションができる人

- ・
- ・
- ・

→ それをするために必要な力は

[]

2 日本本社と駐在の事務所や工場をつなぐブリッジ人材とは

Ex. 日本の企業文化や考え方を理解している人

- ・
- ・
- ・

→ それをするために必要な力は

[]

3 社内文化や風土を変化させるための社内活性化の人材とは

Ex. 日本の習慣や考え方を尊重した上で意見が言える人

- ・
- ・
- ・

→ それをするために必要な力は

[]

2. 「自己PR」を書こう



一般企業が外国人社員に求める人材像に合わせて「自己PR」文を書きましょう。

下記条件を入れて書いて下さい。

- 条件1 自分にある力（強み）。
- 条件2 それを裏付けるエピソード。
- 条件3 その力を使って社内でどのようなことができると思うか。

2-1 仲間に話そう



「自己PR」文に書いたことを話して下さい。聞いている人達は以下の点について、発表者にコメントして下さい。

- 評価1 内容の分かりにくいところがないかどうか。
- 評価2 オリジナリティがあるかどうか。
- 評価3 説得力があるかどうか。

3. エントリーシートを書こう



下記の条件を踏まえて、「私が見つかった面接のコツ9」（活動冊子 p.65）に300字程度にして清書して下さい。

- 条件1 グループメンバーの意見を取り入れること。
- 条件2 丁寧な文字で書くこと。
- 条件3 語彙や文型の間違いないこと。

第11回 自己表現活動（3） エントリーシートはこわくない 2

外国人である自分をアピール！

◆この回の目的・目標

目的：面接につながるエントリーシートを書く。

ゴール：エントリーシートのコツを意識しながら書く。

1. エントリーシートのコツをつかもう



エントリーシートのコツは下記の3点に絞られます。

コツ1

結論を始めに述べること。結論は仕事をする上でどのように必要な力か、仕事でどのように生かせる経験か等、仕事をする事と関連していることが大切。

コツ2

結論を裏付けるエピソードは、**外国人留学生として感じる事、経験したこと、その生活を通して考えたこと、乗り越えてきたことを根拠にする。**

コツ3

丁寧な文字で書くこと。日本文化の中では、手で書いた文字は人柄を表すと考えられているため、きれいに書こうと心がけることが大切。

1-1 仲間と話そう



以下3つのタイプはエントリーシートでよく見かける代表的な設問です。

それぞれの質問に対して、あなたはどんなことを書きますか。下記の点についてどう答えるかをグループの人と話して下さい。

話題1 どんな結論にするか。

話題2 どんなエピソードでその結論を証明するか。

<自己PRタイプ>

設問例：① 自己PRをして下さい。

② 学生生活で一番がんばったことは何ですか。

- ③ あなたの長所と短所について教えてください。
- ④ あなたの強みを教えてください。
- ⑤ 最近気になっている社会現象を説明して下さい。

＜志望動機タイプ＞

- 設問例：① 当社を志望される理由を教えてください。
- ② 当社に入社後どのような仕事をしたいと思っていますか。
 - ③ 当社の企業方針についてどう思われますか。
 - ④ 仕事で生かせるあなたの能力について説明して下さい。

＜将来設計タイプ＞

- 設問例：① あなたの10年後はどうなっているか教えてください。
- ② 仕事を通じてどのような自分を実現したいと思っていますか。

2. 「自己PR」を書こう



2-1 <下書きその1>を書こう

「学生時代にがんばったこと」というテーマで自己PR文を書きましょう。

下記条件を入れて、<下書きその1>（300字以内）を書いて下さい。

- 条件1 留学したことで体験した困難なこと。
- 条件2 どのように乗り越えたかが具体的であること。
- 条件3 それが今後の企業生活にどのように生かせると思うか。

2-2 仲間に話そう



<下書きその1>に書いたことを話して下さい。聞いている人達は以下の点について発表者にコメントして下さい。

- 評価1 内容の分かりにくいところがないかどうか。
- 評価2 オリジナリティがあるかどうか。
- 評価3 説得力があるかどうか。



3. エントリーシートを書こう

下記の条件を踏まえて、「私がつかんだ面接のコツ10」(活動冊子 p.65) に清書して下さい。

- 条件1 グループメンバーの意見を取り入れること。
- 条件2 丁寧な文字で書くこと。
- 条件3 語彙や文型の間違いないこと。

第12回 自己表現活動（4） 本気で面接1 準備・リハーサル

これまでに学んだことのすべてを出し切ろう

◆この回の目的・目標

目的：これまでの自己取材活動・自己表現活動の成果を面接の場で発揮する。

目標：面接での注意事項を確認し、本番で気をつけることを自ら宣言する。

1. 面接での注意事項を確認しよう



本番で注意すべきことを再確認しましょう。面接官に与える第一印象は非言語の表現で決まります。非言語、言語の表現についてこれまで学んできた面接のコツを整理しておきましょう。

●非言語

- 服装が面接にふさわしい。
- まっすぐ前方を見て座っている。
- 姿勢がいい。
- 正しく礼ができる。
- 意欲を感じさせる表情をしている。
- 面接官と視線を合わせて話すことができる。

●言語

- 声の大きさが聞き取りやすい。
- 話すスピードが聞き取りやすい。
- 発音・イントネーションが聞き取りやすい。
- 語彙や表現が適当である。
- 質問を受けてから答えるまでの沈黙の時間が長くない。
- 1分以内にまとめて話すことができる。
- 質問に対する自分の結論が明確である。
- 説得力や独自性のある内容である。
- 準備したことを暗記するのではなく、自分の言葉にして答えている。

1-1 仲間と話そう



それぞれの項目について、できるかどうか自分自身を評価して下さい。できそうなものとあまり自信の持てないものについて、グループのメンバーに話して下さい。

グループの人は以下の点に関して発表者に対して意見を言って下さい。

話題1 本人の評価は適当だと思うか

話題2 本人の自信のない点についてアドバイス

1-2 「弱点克服」宣言をしよう



各自、面接での弱点は明確になったでしょうか。苦手なことを意識するだけでも、結果は全然違います。話し合ったことを以下のリストに書いて、クラス全体に宣言しましょう。

私が面接官に与えたい印象は

- ・
- ・
- ・

そのために気をつけようと思っていることは

- ・
- ・
- ・
- ・

これらに気をつければ、きっと合格できると思います。

2. 「本気で面接」最後の練習



面接官 A と面接官 B のロールカードがあります。3人1組になって、以下の役割を順番に練習して下さい。

面接官役：企業の人気持ちになって聞いて下さい。

応募者役：この企業に入りたいと思って答えて下さい。

評価者役：応募者の宣言をよく読んで、できているかどうかチェックして下さい。

ルール1 面接官 A

- 1 自己PRを1分以内でお願いします。
- 2 なぜこの職種を選ばれたんですか。
- 3 日本で学びたいと思われた理由は何ですか。
- 4 今の日本語の力で日本での仕事ができますか。
- 5 日本で体験した困難をどう乗り越えましたか。

ルール2 面接官 B

- 1 1分以内で自己PRをして下さい。
- 2 この職種を希望する理由は何ですか。
- 3 日本で学びたいと思われた理由は何ですか。
- 4 帰国して仕事を探した方がいいのではないですか。
- 5 日本の企業文化についてどう思われますか。

●次回に向けて：「本気で面接1」

個人面接の様子をVTR録画します。

面接にふさわしい服装をしてきて下さい。

第13回 自己表現活動（5） 本気で面接2 ビデオ撮影

これまでに学んだことのすべてを出し切ろう

◆この回の目的・目標

目的：これまでの自己取材活動・自己表現活動の成果を面接の場で発揮する。

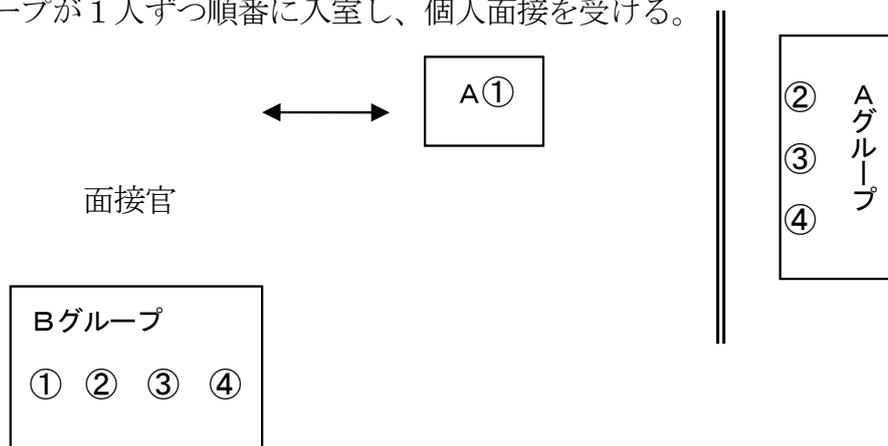
目標：面接に向けての自分の「宣言」を実行する。

1. 面接の前に「個人面接の進め方」と「評価の仕方」を確かめよう

1-1 個人面接の進め方



- ・ A・B 2 グループに分かれ、Aグループは全員室外で待機する。
- ・ Aグループが1人ずつ順番に入室し、個人面接を受ける。



- ・ Bグループ全員はAグループの面接の様子を観察しながら個人面接評価シート①に記入する。
- ・ Aグループ全員の面接が終わったら、Bグループと交代する。

1-2 評価の仕方

個人面接評価シート①を読んで、評価項目と評価方法を確かめる。

評価は、良い（A）と改善の必要がある（B）の2段階とする。

2. 個人面接実施



面接の様子をVTR録画します。

■個人面接評価シート 1 (観察者の評価)

応募者 _____

観察者 _____

良い=A 改善の必要がある=B

1 外見・態度			2 話のやりとり・話し方		
座り方	A	B	声の大きさ	A	B
姿勢	A	B	話すスピード	A	B
礼の仕方	A	B	発音・イントネーション	A	B
表情	A	B	語彙・表現	A	B
視線	A	B	質問を受けてから答えるまでの時間	A	B
服装	A	B	1分で話し終える	A	B
感情的にならない	A	B	途切れずに話を続ける	A	B

3 話の内容 (質問に対する答えが的確・説得力がある・独自性がある)					
① 自己PR	A	B	()
② 志望動機	A	B	()
③ なぜ日本	A	B	()
④	A	B	()
⑤	A	B	()

Part 4 まとめ

第14回 評価（1） 面接～これからの課題1 ビデオ評価

VTRを見て自己評価をしよう

◆この回の目的・目標

目的：面接の場で表現できたこと、できなかったことを明らかにする。

目標：自分の面接の様子を客観的に評価する。

1. 面接のVTRを見て振り返りをしよう

振り返りは全員で面接のVTRを見ながら、以下のように行う。

1-1 自己評価



面接者本人が、VTRで自分の面接の様子を見ながら個人面接自己評価シート²（次ページ）に記入する。

1-2 VTRを見た後の話し合い



VTRを見た後、まず本人が自分の面接の様子についての感想を話す。

次に全員で良かった点、気になる点、本人に質問したいことなどを話し合う。

それぞれ、自分の面接の様子で指摘されたことをメモ書きしておく。

→1人分の面接の視聴と話し合いを繰り返して進めていく。

仲間から指摘されたこと

■個人面接評価シート2 (自己評価)

記入者 _____

良い=A 改善の必要がある=B

1 外見・態度			2 話のやりとり・話し方		
座り方	A	B	声の大きさ	A	B
姿勢	A	B	話すスピード	A	B
礼の仕方	A	B	発音・イントネーション	A	B
表情	A	B	語彙・表現	A	B
視線	A	B	質問を受けてから答えるまでの時間	A	B
服装	A	B	1分で話し終える	A	B
感情的にならない	A	B	途切れずに話し続ける	A	B

3 話の内容 (質問に対する答えが的確・説得力がある・独自性がある)					
① 自己PR	A	B	()
② 志望動機	A	B	()
③ なぜ日本	A	B	()
④	A	B	()
⑤	A	B	()

第15回 評価（2） 面接～これからの課題2 「面接のコツ」ノートで振り返り これまでの私、これからの私

◆この回の目的・目標

目的： これまでの学習を振り返り、これから何をすべきかを考える。

目標： 面接での受け答えについて観察者の評価と自分自身の評価を比べ、分析する。

1. 自分の評価と観察者の評価を比べてみよう



第13回の面接体験の時の受け答えについて、観察者は言語、非言語の両面で適当だったかどうかを評価しました。各自その評価表を下記のリストに集計し、以下の点について分析して下さい。

集計 各項目について（ A 良い B 改善の必要 ）のどちらにつけてあるか
チェックして人数を書き込んで下さい。

分析 あなた自身は（ A 良い B 改善の必要 ）のどちらにつけたかを書き、
それらを比べて下さい。

●外見・態度

観察者の評価	あなたの評価
座り方 A ()人 B ()人	A B
姿勢 A ()人 B ()人	A B
礼の仕方 A ()人 B ()人	A B
表情 A ()人 B ()人	A B
視線 A ()人 B ()人	A B

●話のやりとり・話し方

観察者の評価		あなたの評価	
声の大きさ	A () 人 B () 人	A	B
話すスピード	A () 人 B () 人	A	B
発音・イントネーション	A () 人 B () 人	A	B
語彙・表現	A () 人 B () 人	A	B
答えるまでの時間	A () 人 B () 人	A	B
1分で話し終える	A () 人 B () 人	A	B
途切れずに話を続ける	A () 人 B () 人	A	B

●話の内容

自己PR	A () 人 B () 人	A	B
志望動機	A () 人 B () 人	A	B
なぜ日本	A () 人 B () 人	A	B
	A () 人 B () 人	A	B
	A () 人 B () 人	A	B



2. 最終結果をまとめよう

自分の評価と観察者の評価が同じだった項目と違っていた項目についてどう感じますか。下記の点についてポイントごとにまとめて、「私がつかんだ面接のコツ11」(活動冊子 p.66) に書きます。

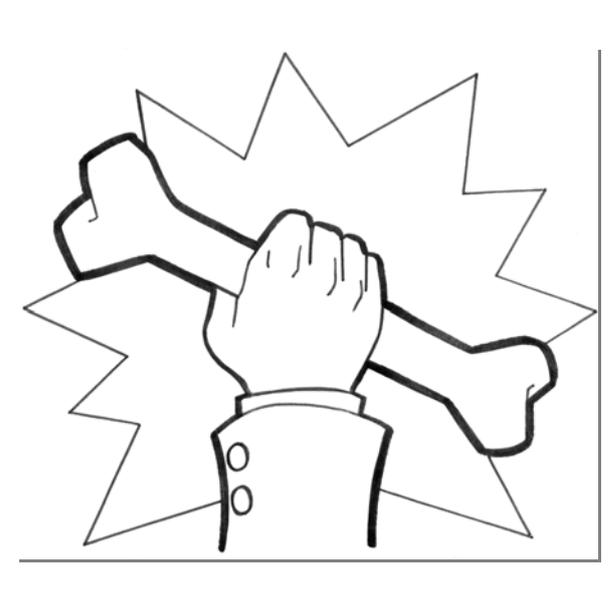
書いたものをクラスで発表しましょう。

- ポイント1 同じだった項目について原因だと思うこと。
- ポイント2 違っていた項目について原因だと思うこと。
- ポイント3 本番の面接までに克服すべき自分の課題は何か、対策をどうするか。

◆各回のキーワード

- 1 課題発見 エントリーシート、履歴書、学歴、職歴、西暦、送付状、ビジネス文書
- 2 集団面接、手順、入室、一礼、着席、起立、退室、姿勢、視線、礼、印象、
言葉づかい、腕を組む、脚を組む、指摘する
- 3 専門分野、留学先、就職先、概略、関連性、再検討、条件を踏まえる、
関連づける、必然性
- 4 長所、短所、改善目標、明確、客観視、説得力、自己PR、傾向、活発、
慎重、我慢強い、几帳面、落ち着いている、責任感がある、仕事を任せる、自覚、
悪影響
- 5 強み、社会人基礎力、主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、
創造力統計学、数値、指摘、意図、指針、予測、設計、最優先、保有、発信力、傾聴力、
柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力、おろ合い、行き詰まる、
見定める、努める、不快感、礼儀、調整役
- 6 要素、取り組む、巻き込む、現状、分析する、生み出す、発生源、
対応する、発揮する、生かせる、定義する
- 7 非言語、自己表現、技法、デビューする、プロデュースする、第一印象、演出、
初対面、視点、面接官、応募者、理解力、意欲、雰囲気、服装、礼儀正しい、
快活、信頼、情熱的、優秀、戦略、失礼、根拠、狙う
- 8 志望動機、職種、職務、魅力、実現する、克服する、熱意
- 9 アピール、コミュニケーション能力、司会進行、議事録、討議、討論、結論、
議題、分担する、やりがい
- 10 人材像、駐在、ブリッジ人材、風土、活性化、異文化理解力、異文化適応力、
忍耐力、尊重、裏付ける、オリジナリティ
- 11 根拠、乗り越える、人柄、社会現象、設問、企業方針、困難、具体的
- 12 成果、宣言、沈黙、独自性、暗記、自信、弱点克服、苦手、役割、評価者、
ロール、ふさわしい
- 13 待機、感情的、途切れる、的確、外見、やりとり
- 14 振り返り、評価
- 15 受け答え、改善、対策、本音

私が見つかった 面接のコツノート



■第1回 履歴書を書こう 私がつかんだ面接のコツ1-2

送付状（タイプしたものを貼り付ける）

■第2回 やってみよう！面接 私がつかんだ面接のコツ2

面接を成功させるための私たちの課題

自己評価 ○良い ●改善の必要あり

	自己評価	注意しなくてはいけないこと
座り方		・座っている時、体を揺らさない
姿勢		
礼の仕方		
表情		
視線		
声の大きさ		
話すスピード		
発音、イントネーション		
言葉づかい		
質問に答えるまでの時間		
語彙・表現		
話の長さ		
話の内容		

面接を成功させるための私の課題（自己評価●のものを箇条書きにする）

(例)・姿勢（胸を張る）

■第2回 なぜ日本？

私が見つかった面接のコツ3-1 専門について

あなたの専門について教えてください。

私が見つかった面接のコツ3-2 留学した理由について

日本に留学した理由は何ですか。

私が見つかった面接のコツ3-3 日本企業に就職したい理由

日本企業に就職を希望する理由は何ですか。

■第4回 私はどんな人？ 私が見つかった面接のコツ4

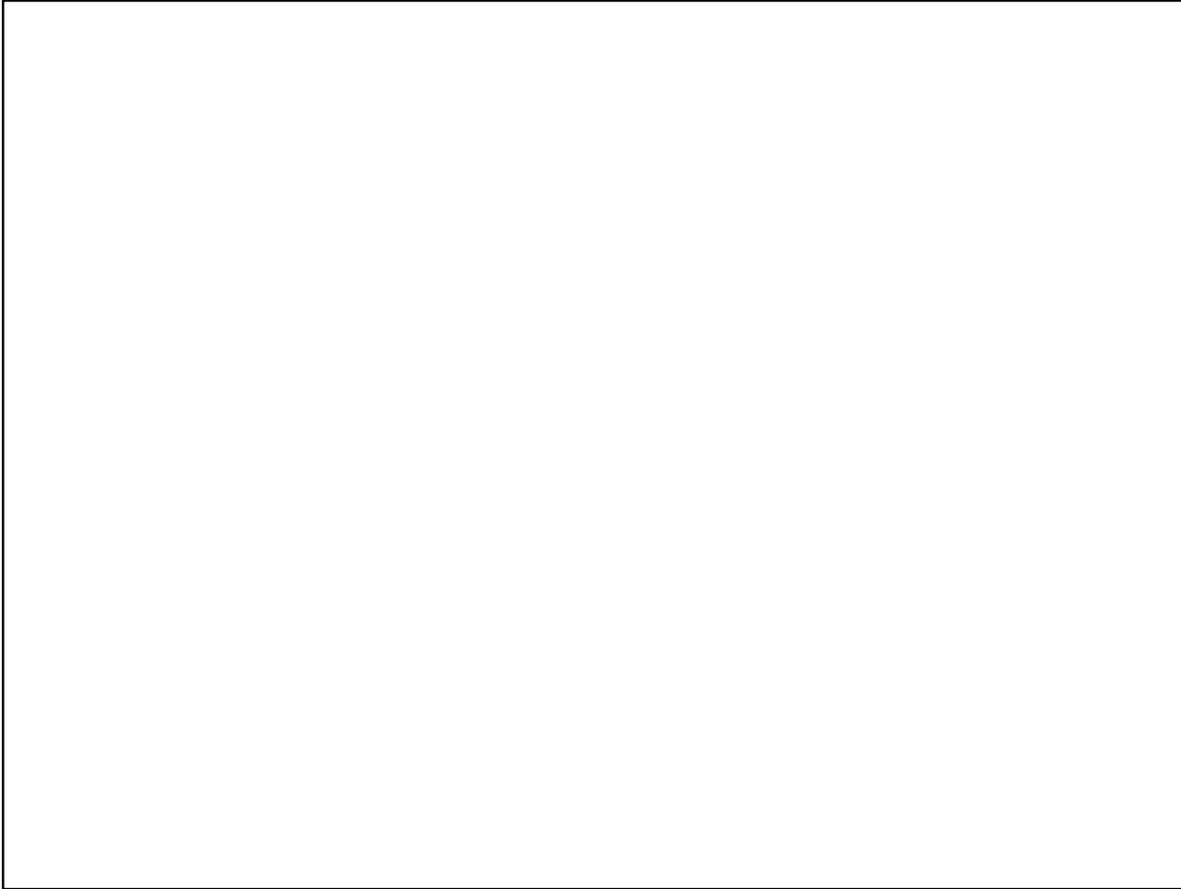
私の長所と短所

私の長所

私の短所

■第6回 私の強み2 私がつかんだ面接のコツ5

社会人基礎力で自己PR

A large empty rectangular box with a black border, intended for the user to write their self-introduction (自己PR) based on their social skills (社会人基礎力).

■第7回 私プロデュース 私がつかんだ面接のコツ6

面接で伝えたい私のイメージ

イメージ1：

戦略：

注意すること：

イメージ2：

戦略：

注意すること：

イメージ3：

戦略：

注意すること：

■第8回 企業と私のフィッティング 私がつかんだ面接のコツ7

なぜこの職種を希望するのか

(希望するようになったきっかけと仕事の魅力、その職種に求められる能力、
自分が発揮できる能力、将来の希望の順に書く)

私が希望する職種は.....です。

■第9回 グループ・ディスカッションを乗りきろう

私が見つかった面接のコツ8

グループ・ディスカッションで各役割が注意しなくてはならないこと

- ・司会進行係
- ・時間管理係
- ・議事録係
- ・その他のメンバー

グループ・ディスカッションでのマナー

グループ・ディスカッションで私が注意しなくてはならないこと

■第10回 エントリーシートはこわくない1 私が見つかった面接のコツ9

自己PR

外国人社員に求める人材 (300字)

■第11回 エントリーシートはこわくない2 私が見つかった面接のコツ10

自己PR

学生時代にがんばったこと (300字)

■第15回 これまでの私、これからの私 私が見つかった面接のコツ11

ポイント1 まとめ

ポイント2 まとめ

ポイント3 まとめ

○監修

財団法人 海外技術者研修協会

○執筆者

山本弘子 カイ日本語スクール 代表
松尾恵美 カイ日本語スクール 専任講師
中村和弘 カイ日本語スクール 専任講師
倉本文子 カイ日本語スクール 専任講師
深澤道子 カイ日本語スクール 非常勤講師
増田アヤ子 カイ日本語スクール 非常勤講師
松本直美 カイ日本語スクール 非常勤講師

○イラスト

柳原満月

※執筆者の所属は教材作成時（平成 19 年度）のものです。

本教材は財団法人海外技術者研修協会が経済産業省より受託し実施した「アジア人財資金構
想・共通カリキュラムマネジメントセンター事業」の一環として開発されました。

監修

財団法人 海外技術者研修協会

〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話 03(3888)8211 <http://www.aots.or.jp>

2011年3月

©2011 The Association for Overseas Technical Scholarship (AOTS)

不許複製・転載